

**JENESYS2020 日シンガポール・オンライン交流**  
**(日本語コミュニケーション・日本文化 (サブテーマ: 社会福祉)) の記録**

**1. 概要**

【目的】社会福祉を専攻しているシンガポールの学生が、同国も直面している少子高齢化をテーマに、日本の高齢社会対策、幼児教育、引きこもり対策に関する取組を視察するとともに、福祉ロボット等の最先端技術を学ぶことにより、日本の社会福祉への取組みについての理解を促進することを主目的に、本プログラムを実施しました。

【参加者】シンガポールの専門学校生・教員 計 150 名

【訪問地】北海道、東京都、岩手県、神奈川県、大阪府

**【日程】**

日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下 3 日間の参加人数：計 134 名		
2020 年 12 月 23 日 北海道 札幌市	<b>【学校交流】</b> 東海大学 札幌キャンパス 1. 事業説明 2. 開会の挨拶・本日の流れ 3. 学校紹介 (東海大学) 4. 学校紹介 (Temasek Polytechnic) 5. グループディスカッション 6. 振り返り・感想共有 7. まとめ・記念撮影 8. 閉会の挨拶	各学校の紹介プレゼンテーション、グループディスカッションを行いました。グループディスカッションでは 7 グループに分かれ「新型コロナウイルスの状況・生活環境の変化」および「北海道・シンガポールの特色」について話し合い、その後はフリーディスカッションで感想を述べました。異文化の理解を深め、活発な交流を持つことができました。
2021 年 6 月 18 日 東京都	(他のプログラムと合同で実施) <b>【ウェビナー・質疑応答】</b> 1. 講義 日本理解講義「Japan Today」 講師：SIMA 国際経営研究所 所長 木村秀夫氏 2. 質疑応答	歴史、経済、社会福祉、文化など幅広い分野に関する日本理解講義を聴講し、参加者からは、コロナ禍でのオリンピック開催における日本の経済効果等についての質問がありました。日本の移民政策についての質問に対しては、講師から詳しい解説があり、シンガポールの事例と比較しながら興味深く聞いていました。

<p>2021年 6月25日 岩手県 陸前高田市</p>	<p>(他のプログラムと合同で実施) 【ウェビナー・質疑応答】</p> <p>1. 講義 「岩手県陸前高田市*の”ホストタウン”の取り組みと地域の魅力紹介」 講師：岩手県陸前高田市 国際交流員 サラ・チュウ氏</p> <p>2. 質疑応答</p>	<p>シンガポール出身の講師により、講義後の質疑応答は盛んに行われました。参加者からは、陸前高田市の郷土料理や特産品、人々の生活や英語が通じるかどうか等についての質問があり、ホストタウンに強い興味を示していました。在住外国人から見た日本や陸前高田市の紹介を聴講し、2回目の日本理解講義プログラムとは異なる視点で、日本についてさらに理解を深めたようでした。</p>
<p>以下 6 日間の参加人数：16名）（以下のプログラムは他のプログラムと合同で実施）</p>		
<p>2022年 3月14日</p>	<p>【動画視聴】</p> <p>1. 外務省挨拶 2. 事前オリエンテーション 3. 南三陸町からのメッセージ 4. 日本文化理解（京都） 5. 日本語学習</p>	<p>プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。</p>
<p>2022年 3月16日 神奈川県</p>	<p>【オリエンテーション】【ウェビナー・質疑応答】</p> <p>1. 開会 2. JICE 代表挨拶 3. プログラム内容説明 4. 日本理解講義 「An Introduction to Japanese Culture」 講師：横浜国立大学 准教授 長谷川健治氏</p> <p>5. 記念撮影 6. グループ別交流</p>	<p>オリエンテーションでは、参加者のミッションについての質問が数多く出て意欲の高さが感じられました。</p> <p>日本理解講義では、日本の社会保障制度、高齢化問題、人口減に関する質問等、現代の日本が抱える問題について多くの質問がありました。また、日本の医療現場で働く外国人が知っておくべき文化背景についても高い興味がうかがえました。</p>
<p>2022年 3月17日 大阪府</p>	<p>【視察】</p> <p>1. 開会 2. プレゼンテーション 「Presentation by Nursing Association」 講師：公益財団法人大阪府看護協会 会長 高橋 弘枝氏</p> <p>3. 質疑応答 4. 集合写真撮影 5. 振り返り（グループ別）</p>	<p>日本の医療現状や制度、大阪府看護協会の取り組みやコロナ禍における対応などについて紹介がありました。看護師、介護士として日本での就労に関心がある参加者もあり、日本の医療現場や仕組み、日本での外国人人材受け入れや就労制度なども含め数多くの質問がありました。</p>

<p>2022年 3月18日 大阪府</p>	<p>【交流】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. グループ交流（自己紹介）</li> <li>3. プレゼンテーション 日本政府観光局（JNTO）善意通訳組織化団体 大阪 SGG クラブ</li> <li>4. グループディスカッション（テーマ別）</li> <li>5. 各グループ感想発表</li> <li>6. 集合写真撮影</li> <li>7. 振り返り</li> </ol> <p>※日本政府観光局善意通訳組織化団体 大阪 SGG クラブ 17名参加</p>	<p>日本各地の特色や日本文化が紹介された後、5つ（日本の文化、年中行事、祭り、食べ物、日常生活）のテーマごとにグループに分かれ内容紹介と交流が行われました。参加者は、日本人がどのような文化的・歴史的背景から、どのような行事を行い、それらをどのように楽しむのか興味深い様子で、自分の国との違いや類似点についても考えながら意見交換をしていました。</p>
<p>2022年 3月21日 東京都</p>	<p>【ワークショップ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アクション・プランの作成</li> <li>2. 報告会に向けてパワーポイント準備</li> </ol>	<p>参加者が日々記入していたワークシートをもとに、プログラム後3か月以内に実施するアクション・プランの作成に向け話し合いました。また、翌日の報告会に向け、発表者やパワーポイント作成者等の担当を決めるなど、準備を進めました。</p>
<p>2022年 3月22日 東京都</p>	<p>【報告会】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. グループ発表</li> <li>3. 講評・挨拶</li> <li>4. 記念写真撮影</li> <li>5. 閉会</li> </ol>	<p>このプログラムに参加して気づいたこと、学んだことをもとに、参加者それぞれの興味分野（日本文化、観光、娯楽、日本語、ヘルスケアなど）に応じて、日本の魅力をどのように発信するか発表しました。他のグループの発表時には、賛辞のメッセージを送り合うなど、熱心に聴いていました。</p>

## 2. 記録写真

 <p>Welcome to Temasek Polytechnic (TP)!</p> <p>TP is located in Tampines, Singapore; right next to the Dedok Reservoir - where we usually hold our annual dragon boating and cheering competition! TP also has various facilities such as a swimming pool, gym, music studio and even a workshop for student inventions!</p>	
<p>2020年12月23日【学校交流】</p>	<p>2020年12月23日【学校交流】</p>

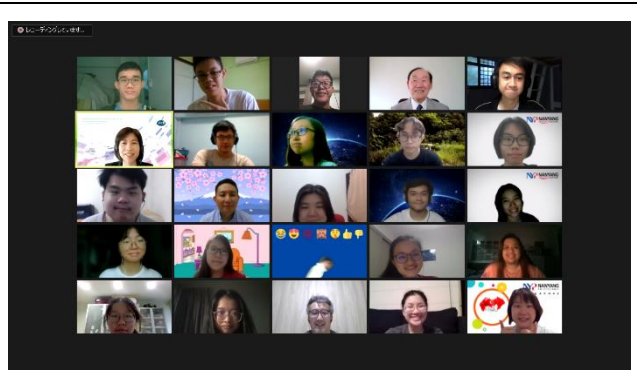
**Aging population**

65 & Older

2020 29%

2040 35

Summary rounded by Kimura  
Source: <http://www.stat.go.jp/data/index.html>



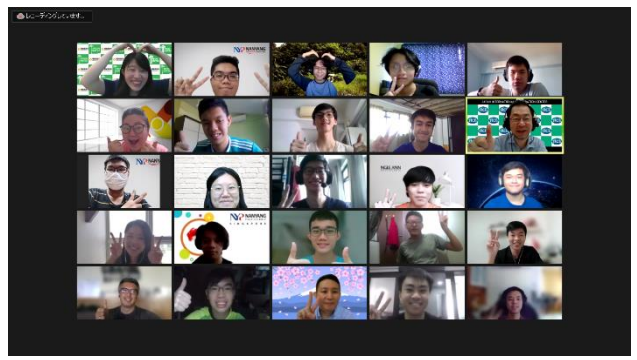
2021年6月18日【ウェビナー・質疑応答】

2021年6月18日【ウェビナー・質疑応答】

**Arigato Host Town for Supporting Reconstruction**

- Municipalities from Iwate, Miyagi and Fukushima Prefecture
- Become host towns to show gratitude to countries that supported them
- Allows athletes/people from these countries to see how reconstruction efforts are going along
- Allows local citizens to interact with people from these countries

Extracted from Light up HOST TOWN Project's homepage and Japan's Ministry of Foreign Affairs' homepage

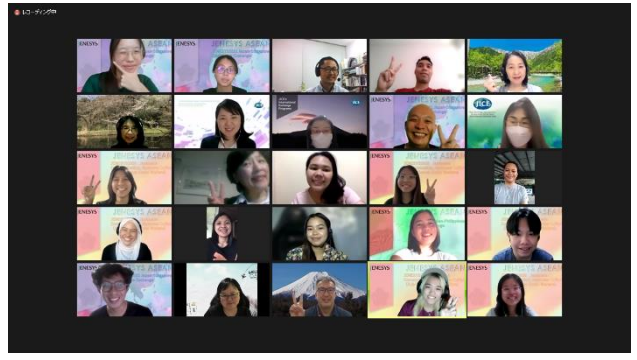


2021年6月25日【ウェビナー・質疑応答】

2021年6月25日【ウェビナー・質疑応答】

**An Introduction to Japanese Culture**

Kenji Hasegawa  
(Yokohama National University)



2022年3月16日【ウェビナー・質疑応答】講義の様子

2022年3月16日【ウェビナー・質疑応答】集合写真

**Osaka Nursing Association**

Articles of Incorporation -Article 3  
In partnership with the Japanese Nursing Association, the Osaka Nursing Association, aims to help people lead healthy happy lives by improving the quality of professional nursing care provided by educated and trained public health nurses, midwives, nurses and assistant nurses. By ensuring positive-minded workplace environments where nurses can build careers, and develop the nursing area to serve the needs of the people.

**Basic Principles**

- Improving the quality of nursing care
- Ensuring positive-minded workplace environments where nurses can build careers
- Expanding and enhancing nursing roles



2022年3月17日【視察】大阪府看護協会によるプレゼンテーションの様子

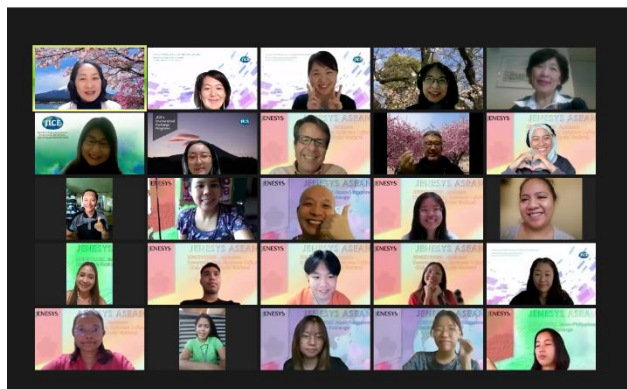
2022年3月18日【交流】日本文化をテーマにしたグループディスカッションの様子



2022年3月21日【ワークショップ】報告会に向けた資料作成の様子



2022年3月22日【報告会】プレゼンテーションの様子



2022年3月22日【報告会】集合写真

### 3. 参加者の感想（抜粋）

#### ◆ 高等専門学校生

日本の学生と交流し、彼らの大学について知ることができたのは、とても素晴らしく楽しい経験でした。私は日本について楽しく学ぶことができましたし、彼らがシンガポールについてももっと知りたいと思ってくれたことに心を打たれました。今日築いた友情は、間違いなく最高の収穫のひとつです。

#### ◆ 高等専門学校生

シンガポールが日本の被災地復興のために多大な努力をしていることや、松の木を植えるプログラムなど、外国人が日本人々と真に交流できるような活動をしていることを知り、とても興味深く思いました。新型コロナウイルス感染症の終息後に何か機会があれば、日本でそのようなイベントに協力したいと思います。

#### ◆ 高等専門学校生

陸前高田市のことを知り、自然災害があった際に、シンガポールがどのようにしてこの街の発展に貢献したかを知ることができました。障がい者にも優しい文化の醸成を目指していることも素晴らしいと思います。さらに、シンガポールと日本が良好な関係を維持していることは、両国がお互いの発展のために努力していることを示しており、心強い限りです。

#### ◆ 高等専門学校生

このプログラムは非常に楽しいもので、日本に対する理解を深め、日本文化、建築、日本人の価値観をよく理解することが出来ました。新型コロナウイルス感染症による制限で、対面で行えなかったのは残念でした。

#### ◆ 高等専門学校生

このプログラムは大変面白く、十分に日本文化に浸ることが出来ました。私の頭に鮮明に残っている出来事は、大阪 SGG クラブの方達と日本文化、例えば茶道や落語に関する交流をして、質問をしたことです。そのプレゼンテーションは価値あるもので、深いところまで知ることが出来ました。

### 4. 受入れ側の感想（抜粋）

#### ◆ 交流校学生

1 時間と短い時間でしたがシンガポールの方とオンライン越しで話し合い、文化や学校生活を知ることができました。

#### ◆ 交流校学生

ディスカッションの時間はとても印象的で楽しかったです。

#### ◆ 交流校職員

JICE の皆様方のフォローアップが素晴らしかったです。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、国際交流ができず、フラストレーションが溜まっていた学生にとって素晴らしい機会だったと思います。



#### ◆ 講師

今回、フィリピンやシンガポールの学生や看護師、介護士の方々と国を超えて交流することができ、大変貴重な機会を与えてくださったことに感謝申し上げます。みなさん大変素敵な笑顔で心が温まりました。

#### ◆ 交流参加者

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、このような活動の機会を与えて頂き大変喜んでおります。シンガポール、フィリピンの若者との英語での交流を楽しむと同時に、やりがいのある活動だったと感じております。将来またこのような機会があり、お声がけ頂くことが出来れば光栄です。

## 5. 参加者の対外発信

	
<p>2021年6月18日 (Instagram)</p> <p>(6月18日 日本理解講義に関する発信)</p> <p>この講義は、日本の社会、政治、歴史、経済、文化についての洞察を与えてくれ、これらすべての側面が今日の日本という国を形成しているという点で有益なものでした。現在、日本語を勉強している学生としては、日本の文化を理解し、学ぶことも重要です。日本文化を理解することは、日本人同士の交流や彼らのメンタリティを知ることができ、単に言葉や語彙を覚えるだけでなく、日本語を母国語とする人たちとの交流を深めることができるので重要です。</p> <p>2600年以上前に始まった日本の歴史の年表と、日本の主要な歴史的出来事に関する紹介がありました。また、鉄鋼、自動車、ボーイング787、蛍光シルクの生産など、今日の日本の豊かな経済に貢献している活動や、日本がどのようにして先進国の仲間入りをしたのか、特にテクノロ</p>	<p>2021年6月18日 (Instagram)</p> <p>(6月18日 日本理解講義に関する発信)</p> <p>私が日本語や日本文化を学ぼうと思ったのは、父親に日本文化に触れさせてもらったからです。幼い頃から、日本の観光地や音楽、食文化などを紹介するテレビのバラエティ番組を通して、日本の文化に触れてきました。日本にはユニークで豊かな文化があり、西洋の影響を受けながらも、その文化の多くが世代を超えて継承されていることに驚きました。だからこそ、私は日本を学び、理解したいと思ったのです。</p> <p>今回の講義の時間は、日本の歴史、文化、発展といった日本のアイデンティティを概観するのにちょうど良かったと思います。文化という点では、日本の食文化についても学べることも期待していました。私は現在、ポリテクニクで食品科学・栄養学を学んでいるので、日本の食文化を理解し、学ぶことに強い関心を持って</p>

ジーの分野でどのような発展を遂げたのかを学びました。

今回の講義で私が最も気に入ったのは、日本のテクノロジーについてでした。

日本の技術についての私の予備知識は、日本は多くの成功した技術や半導体を発明した世界の国の一つであるということです。この講義では、日本の成功した技術をいくつか紹介してもらいました。例えば、ガイドウェイ上で磁気浮上を利用し、地面に接触することなく移動することから、その速度と効率の良さで広く知られているリニアモーターカーの革新的な技術です。

ます。例えば、日本の各料理の意味や、長寿や健康的なライフスタイルの理由の一つとして知られている日本人の食生活などです。



2022年3月17日 (Facebook)

JENESYS 2日目

今日は大阪府看護協会について学びました。

・日本では全国で 160 万人の看護師がいますが、これはシンガポール人口の 5 人に 1 人が看護師ということになり、非常に数が多いです。

2022年3月18日 (Instagram)

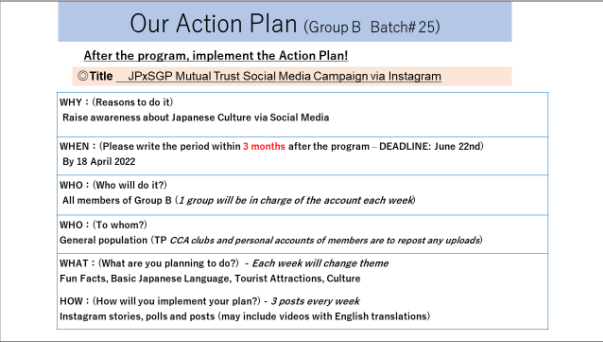
3日目：大阪 SGG クラブとの交流

日本の文化、特に行事について話をしました。写真にあるように節分は、鬼、つまり悪霊を退散させるお祭りです。



<p>・日本の社会統計を見ると、(2010年では)2.6人が1人の高齢者を支えています。これが2060年になると、1.2人が1人の高齢者を支えるということになります。</p> <p>・日本において看護師のキャリアアップは分かりやすいのですが、そのためには多くの教育を受けなければなりません。</p> <p>2日目、素晴らしかったです。</p>	<p>(友達からの返信)</p> <p>「なに、節分ですって？」</p> <p>「節分は鬼に豆を投げつけて追い払う行事なの。私達も日本に行って豆まきしてみたいね」</p>
---	---

## 6. 最終報告会でのアクション・プランの発表

 <p><b>Our Action Plan (Group B Batch# 25)</b></p> <p>After the program, implement the Action Plan!</p> <p>● Title: JPKSGP Mutual Trust Social Media Campaign via Instagram</p> <p>WHY: (Reasons to do it) Raise awareness about Japanese Culture via Social Media</p> <p>WHEN: (Please write the period within 3 months after the program - DEADLINE: June 22nd) By 18 April 2022</p> <p>WHO: (Who will do it?) All members of Group B (2 group will be in charge of the account each week)</p> <p>WHO: (To whom?) General population (TP CCA clubs and personal accounts of members are to repost any uploads)</p> <p>WHAT: (What are you planning to do?) - Each week will change theme Fun Facts, Basic Japanese Language, Tourist Attractions, Culture</p> <p>HOW: (How will you implement your plan?) - 3 posts every week Instagram stories, polls and posts (may include videos with English translations)</p>	<p>「インスタグラムを使った日本・シンガポール相互交流を深めるキャンペーン」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実施理由: SNS を使って日本文化への関心を高めるため。</li> <li>■ 実施時期: 4月18日まで</li> <li>■ 実施する者: グループのメンバーが参加、4つのサブグループを作って1週ずつ実施します。</li> <li>■ ターゲット: 一般国民に対して (TP CCAクラブと個人メンバーはアップロードされたものを再投稿)</li> <li>■ 実施計画: 1週ずつテーマを変え、日本の面白い情報、基本的な日本語、観光名所、日本文化についての発信を行います。</li> <li>■ 実施方法: 1週につき3投稿、インスタグラムのストーリーや投票機能、投稿 (英訳付きのビデオも含む) を用いて発信します。</li> </ul>
--	--

実施団体名: 一般財団法人日本国際協力センター (JICE)